

「令和7年度 市民トーク」開催結果（片浜地区）

以下のとおり結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日 時 7月16日（水） 午後7時00分～午後8時30分
- (2) 会 場 片浜コミュニティ防災センター
- (3) 内 容 市長からの市政報告・地区からの質問
- (4) 参加人数 26人

2 市長からの市政報告

当日の配布資料を添付

3 地区からの質問

別紙のとおり ※事前質問は回答書を配布・当日の会場での質問あり

4 当日の様子



令和7年度 市民トーク（片浜地区）質問・要望一覧

日時：令和7年7月16日（水）
19時～20時30分

場所：片浜コミュニティ
防災センター

番号	事 項 名	担当部課
1	国道150号線バイパス道路計画の進捗状況について	建設課
2	堀切川浚渫について	建設課
3	危険な空き家について	都市住宅課
4	水路用安全策柵の取替について	建設課
5	その他要望書の対応状況について	建設課
6	地域福祉活動への送迎サービスについて	長寿介護課

令和 7 年度 市民トーク

片浜地区（7/16 開催）

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	1 国道 150 号線バイパス道路計画の進捗状況について
内 容	昨年度の同市民トークにおいて、同様の質問をさせていただきました。 現在、片浜区の主要な幹線道路は東西に 150 号線が走っているだけである。堀切、久保柄、大磯地区は旧道と 150 号線が並走しているが、法京、坂井地区には 150 号線のみであり、朝晩の交通量は激しく、通勤・通学に交通事故が心配される。 また、この状態は、災害の避難、復旧時の大きな妨げになることが考えられ、早期整備をお願いしている。 そこで、150 号線バイパス建設の昨年度からの進捗状況、見通し等について伺う。 回答は、国や県に要望を入れているという内容ではなく、より具体的にお願いしたい。 【担当：建設課】
回 答	国道 150 号（片浜区間）は、朝晩は交通量が多く、う回路もないために慢性的な交通渋滞が発生しており、これまでも交通事故などの際には、通行に大きな支障が生じております。 市としましては、このような状態を改善するため、近隣市町と国道 150 号バイパス建設促進期成同盟会を組織し、国や県に早期整備の要望活動を行っております。特にう回路のない片浜～大沢区間につきましては、事故発生時のう回路、原子力災害時の避難路及び志太榛原医療圏で産婦人科、周産期医療を担う焼津市立総合病院へのアクセスの確保のために早期の事業着手を強く申し入れておりますが、事業化まで至っていないのが現状となります。 昨年度の市民トークにてご質問いただいてから現在までにおいて事務的には進展がない状況ではありますが、今月に実施した県と

	意見交換を行う会議の中で、隣接する細江～片浜区間と一体として検討する必要があるため、細江～片浜区間の整備の検討状況を見ながら事業化の時期を検討していきたいとの回答がありました。 市としましては、引き続き国や県へ整備促進に対する要望を積極的に実施し、早期事業着手に向けて取り組むとともに、原子力発電所に関連することとして別枠での予算化についても併せて要望していきたいと考えております。
--	---

令和 7 年度 市民トーク 片浜地区（7/16 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	2 堀切川浚渫について
内 容	昨年度の同市民トークにおいて、「堀切川・大磯川における川底の土砂浚渫について」で R6 年度は旧道の上流側・下流側両方の浚渫・伐採を実施する回答をいただいた。 しかし、上流側は川底の樹木を伐採しただけで浚渫はされず来年度に繰り越しと聞いている。また、下流側は昨年度浚渫していただいたが、1 年で雑草の繁殖がすごい状態である。 堀切川は天井川のようになっており大雨の際あふれると、久保柄地区と堀切地区に一挙に水が入ってくることが予想され、昨今の線状降水帯による大雨、台風のことを心配する住民は多い。 今年度の計画状況を伺う。後回しにすることがないように早期実施をお願いします。 【担当：建設課】
回 答	河川の浚渫につきましては、国の国土強靱化対策による緊急浚渫事業債を活用して、市内 24 河川について、令和 2 年度から 6 年度にかけて計画的に浚渫を実施しました。引き続き令和 7 年度から令和 11 年度にかけて、市内 25 の河川について計画的に浚渫を行ってまいります。 ご質問の堀切川については、令和 3 年度と令和 6 年度に浚渫を行っており、令和 6 年度は、市道（旧道）から上流の河川内の草木の伐採及び河口から国道 150 号の上流約 1 4 0 m までの浚渫を実施しました。本年度は市道（旧道）から上流の浚渫及び市道（旧道）から国道 150 号までの間の河川内に繁茂する草の除草を予定しております。

令和 7 年度 市民トーク

片浜地区 (7/16 開催)

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	3 危険な空き家について
内 容	大磯地区マキノハラボ東側道路沿い（ラボ山側隣）に空き家があり老朽化が著しく、台風等の強風や地震で倒壊する恐れもあり大変危険な状態である。また、崩れた際には道を塞ぎ避難や復旧に支障が生じる。 この様な空き家の対応を行政代執行等の対策も含めどう考えているか伺いたい。なお早期対応をお願いする。 【担当：都市住宅課】
回 答	大磯地区マキノハラボ東側道路沿い（ラボ山側隣）の空き家につきましては、令和 7 年 3 月 24 日に特定空家等に認定しており、所有者の方へ空き家の取壊しや修繕、立竹木の伐採その他周辺の生活環境の保全を図るために、適切な管理をするよう通知等を行っております。 また、令和 7 年 6 月 27 日に片浜区より要望を頂き、再度所有者へ通知を行ったところでありますが、特定空家等に対する措置は、「助言又は指導」、「勧告」、「命令」及び「代執行」と順を追って実施していきますので、現在のところ、この空き家には「指導」をしている状況です。 特定空家等の取壊しについては、基本的に所有者が行うものであることから、市は、取壊しに係る費用の一部を助成し、撤去を促しております。しかし、所有者が撤去などの命ぜられた措置を完了する見込みがなく、地域住民や第三者の生命、身体又は財産の危険を及ぼす可能性があり、かつ、その状況が切迫している場合に限り、牧之原市空家等対策協議会に諮り、行政による代執行を行うこととしております。

	今後も、定期的な現地確認と共に、所有者の方に対しまして「勧告」、「命令」等の段階を踏みながら、撤去を促してまいります。区におきましても、特定空家等に変化が生じた場合は、市に通報いただきますようお願いいたします。
--	--

令和 7 年度 市民トーク
片浜地区（7/16 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	4 水路用安全策柵の取替について
内 容	坂井西地区、大豊さんの隣に水路があり水路用安全柵（鉄パイプ）が老朽で錆がひどく危険であり取替の要望書を出した。取替・修理基準と併せ実施可否を伺いたい。 【担当：建設課】
回 答	ご要望をいただきました転落防止柵については、国道 150 号線を管理する県の管理となりますので、修繕の要望をいたしました。 県からは、本年度に修繕を実施するとの回答をいただいております。柵が特殊品となることから、実施時期が判明次第お伝えさせていただきます。

令和 7 年度 市民トーク
片浜地区（7/16 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	5 その他要望書の対応状況について
内 容	2024 年度要望書の内 3 件が翌年度繰越と伺っている。 今年度提出分も含め対応（計画）状況を伺いたい。 【担当：建設課】
回 答	2024 年度の要望書のうち本年度に繰越しとなった 3 件につきましては、準用河川堀切川沿い東道路の凸凹補修と、市道片浜 6 号線堀切西地区の原への道路の補修の 2 件については完了しております。片浜 4 号避難路（坂井地区坂上避難路）の道路亀裂他の補修につきましては、修繕方法を検討しており、令和 7 年度中の完了を予定しております。 本年度に提出された要望書は 1 件で、市道片浜静波線の久保柄地区の横断暗渠の清掃ですが、管内に簡易水道が通っており、その処置について地元との協議が必要なため、協議が済みしだい実施してまいります。

令和 7 年度 市民トーク
片浜地区（7/16 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	6 地域福祉活動への送迎サービスについて
内 容	片浜区では「明老会」「ふれあいクラブ」「銭太鼓」等各団体が片浜区コミュニティ防災センター（以下「公民館」と記す）にて月 1～2 回、10～25 人程度で活動を行っている。 片浜区は東西に約 3.3 km と長い。この各団体は高齢化がすすんでいるが、活動場所である公民館には自動車での移動しか手段がなく高齢者自らが運転し大変不安を持ちながらの移動となっている。 そこで、この状況をどう感じるか伺うとともに、地域福祉活動等の活動の移動手段としてバスやタクシー等による送迎サービスをお願いできないか伺いたい。 【担当：長寿介護課】
回 答	ご質問をいただいたとおり、高齢者の移動手段の確保が懸念されておりますが、市といたしましては、定額料金で自宅から特定施設まで移動できるデマンド乗合タクシーの活用をお願いしたいと考えております。 デマンド乗合タクシーは、市内全域で導入しております。導入以降も利用者からの要望や利用実績を踏まえまして、運行曜日の変更や目的地の追加、更には自宅から最初の目的地に移動後、次の目的地に移動することが出来る目的地間移動等の利便性向上を図っております。 片浜区の運行日は、週 3 日、月・火・金の日中でありますので、デマンド乗合タクシーを利用する場合には、活動日の変更等が必要となりますので、関係者の皆様と調整を図るとともに活動日に合わせてデマンド乗合タクシーが運行出来るのかを検討してまいります。

「市民トーク（片浜地区）」の当日参加者による質問

※会場での質疑応答を要約してあります。

追加質問 1 市長のこれまでの 2 期 8 年の評価について

3 期目の市長選挙に出馬し、牧之原市のために尽力していただきたい。これまでの 2 期 8 年間の市政運営について、市長自身ではどの程度の評価をされているか。

課題としては、小学校の再編統合問題や牧之原台地の高台開発などがまだ残されている。一方で、牧之原インターから島田方面にかけては土地開発が進み、大型重機が稼働している様子が見られる。しかし、海岸線地域はほとんど動きがなく、寂しい状況である。

片浜区については、平成 16 年には人口が 1,542 人であったが、令和 5 年 6 月末には 939 人となり、20 年間で 603 人減少した。他地域と比較しても減少の進み方が早く、危機的である。一般には津波の心配によるものと考えられているが、自分はむしろインフラの低下が主な要因と考えている。榛原署の派出所撤退に始まり、片浜小学校の閉校、農協の撤退が続き、最近では信号機や横断歩道までなくなった。さらに、地域医療を担う田形医師が不在になれば、生活環境は極めて厳しくなる。

合併から 20 年、改善は進んでいない。これまで区会を中心に改善策を模索してきたが、行政の力なくしては限界がある。したがって、3 期目を目指す市長として片浜地域に対する考えを伺いたい。急に答えを求めるのは難しいことは理解しているが、住民の意見や思いを市長に直接伝えられる場を設けていただきたい。

【回答者（市長）】

これまでの 8 年間の市政運営について、自身の評価は 80 点程度と考えている。第 2 次総合計画の締めくくりと第 3 次総合計画の策定を行い、市全体の取組は着実に進めてきたと認識している。一方で、最大の課題である少子化・人口減少は市内全域で進行しており、十分に歯止めがかけられていない点は課題として残っている。

片浜地区においては、小学校の廃校や人口減少が顕著であるが、小学校跡地の利活用は成功し、関係人口・交流人口の増加につながったと評価している。今後については、津波対策が重要であり、L1 対策は完了しているが、L2 対策には大きな費用と時間が必要である。避難道の整備は進めてきたが、さらなる安全確保のために必要な取組

について、住民と意見交換する機会を設けたいと考えている。

また、信号機や横断歩道の撤去については、国の方針に基づき交通量や歩行者数が基準を下回る場所から整理が進められている状況である。市としては可能な限り維持を要望しているが、国・県警の方針によるものであり、市独自で存続を決めることは難しい。ただし、必要性のある場所については引き続き要望を行っていく考えである。

追加質問 2 国道 150 バイパスの計画について

国道 150 号バイパスの計画について、現状はトンネルで海老江方面へ抜ける設計となっているが、片浜区のことを考えると、一度高台に上がる形で整備する方法も検討してほしい。周辺には荒れている茶畑もあり、開発に活用できる余地がある。また、津波のリスクがある低地からの移転先としても有効であることから、工場や住宅建設などを含めた地域発展に資する計画を求める。

【回答者（市長）】

国道 150 号バイパスの整備については、これまで地元説明会や市民トークの場でも説明してきた。国道のバイパスは「縦断勾配を 5%以下にする」という国の基準があり、それを超えると速度が落ち渋滞を招き、バイパスとしての意味をなさなくなる。片浜地区の高台を経由する案では 8～9%程度の勾配となるため、基準を満たさず実現は困難との結論になった。市としては一時期、トンネル方式ではなく平面交差での整備を県に要望したが、調査の結果、速度が出過ぎるなどの理由で困難との回答を受けている。

津波への備えを重視しており、道路の計画にあたっては沿岸部の津波浸水高・浸水深を考慮した高さを確保するよう、県へ要望を行っている。今後も地域の安心・安全を確保できるよう県と協議を続ける方針である。また、片浜地区の発展や住宅の安全確保については、バイパス整備とは別に、台地上での住宅造成など他の事業を通じて検討していく必要があると考えている。